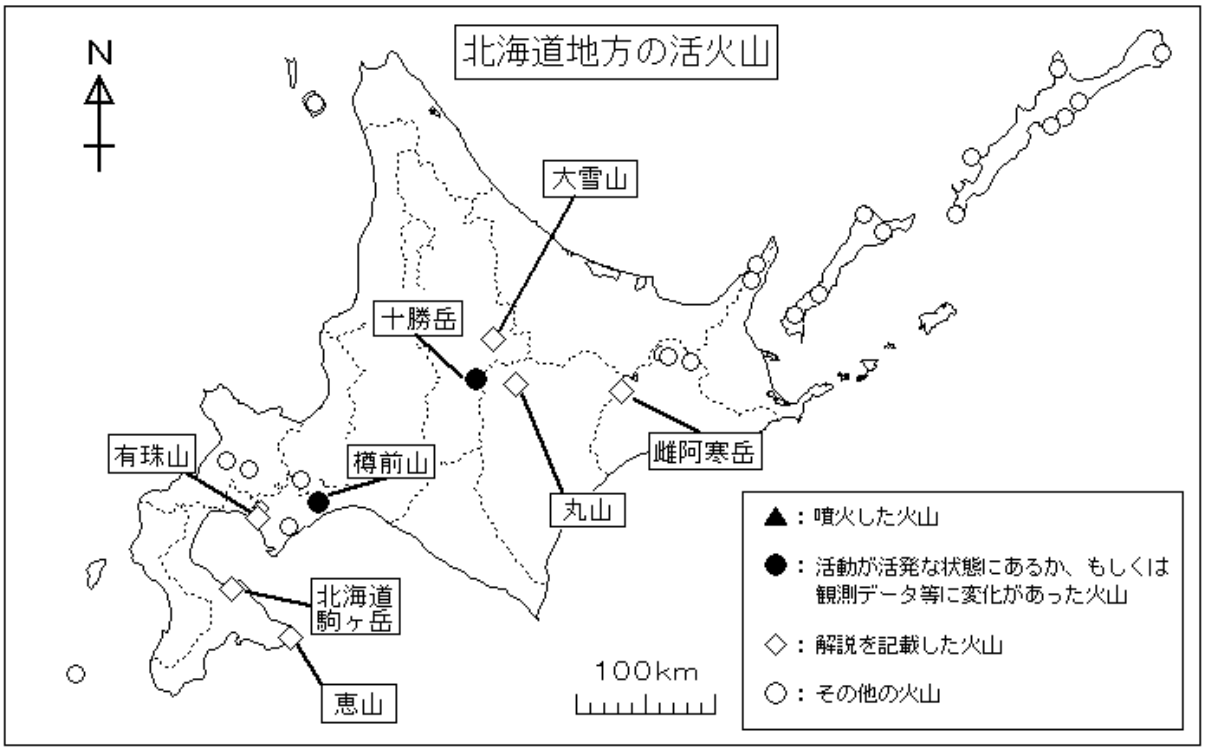
北海道地方の火山活動解説資料（平成 17 年８月）

札幌管区気象台　火山監視・情報センター



８月の北海道内の火山活動は先月と比べて変化はなく、十勝岳、樽前山ではやや活発な状態が続いています。

◇雌阿寒岳［比較的静穏な状況］

地震は少ない状態で経過しており、火山活動は比較的静穏な状態となっています。

●十勝岳［やや活発な状況］

62-2 火口は噴煙活動が活発で高温の状態が続いていると推定されます。火山活動は引き続きやや活発な状態です。火口近傍では注意が必要です。

●樽前山［やや活発な状況］

Ａ火口やＢ噴気孔群は高温の状態が続いていると推定され、火山活動は引き続きやや活発な状態です。火口近傍では注意が必要です。

◇有珠山［静穏な状況］

火山活動は静穏な状態が続いています。

◇北海道駒ヶ岳［静穏な状況］

火山活動は静穏に経過しています。わずかな山体膨張や、2003 年 9 月以降見られている弱い噴気は引き続き観測されています。

◇恵山［静穏な状況］

22～24 日に実施した調査観測の結果、各火口の状況に変化はありませんでした。

◇上空からの観測を実施した火山

【大雪山、丸山】［静穏な状況］

北海道開発局の協力を得て上空からの観測を実施しました。これらの火山では、噴気の状況に変化は認められませんでした。

次の火山活動解説資料（平成 17 年 9 月分）は平成 17 年 10 月 11 日公表の予定です。この資料はホームページでも閲覧することができます（札幌管区気象台 http://www.sapporo-jma.go.jp　気象庁 http://www.jma.go.jp）。